

## まえがき

『ICU 日本語教育研究』第 2 号をお届けいたします。

今回の紀要は、『ICU 日本語教育研究センター紀要』と『ICU 夏期日本語教育論集』の統合誌第 2 号です。従来、『ICU 日本語教育研究センター紀要』に掲載されていた研究論文、報告、所員の研究活動報告等とともに、『ICU 夏期日本語教育論集』に掲載されていたサマーコースの報告を合わせて掲載しています。

現在、本学において学部・大学院・研究所の再編成が進められている中で、日本語教育研究センターは、サマーコースを通して国際交流をとまなう日本語教育に一層力を入れていきたいと存じます。2005 年の夏においては、初めてサマーコースの文化プログラム・アシスタントを担当し国際インターンシップの単位を取得する学生が出ました。サービス・ラーニング・センター、ロータリー平和センター、UC センターなど、他部署との連携も緊密にしていきたいと思っております。

2005 年度のサマーコースには、世界各国から 142 名の受講生が参加しました。そして、その運営にあたっては、学長、副学長、総務副学長、その他、本学の格担当部署をはじめ、ディレクター・佐藤 豊（センター長兼務）、教務主任・鈴木庸子、文化プログラム主任・Kristofer Bayne、事務主任・山崎みゆきが担当しました。また、実際に授業を担当なさった先生方、ホストファミリーの皆様、ボランティアとして参加してくださった ICU 生・地域の方々に深く感謝申し上げます。

今後とも皆様のご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2006 年 1 月 10 日

日本語教育研究センター長

佐藤 豊